

問1 江戸時代の徳川吉宗が行った享保の改革では、質素倹約による財政再建や、目安箱の設置を通じた民意の反映など、多角的な政策が展開されました。この改革の一環として、裁判を迅速かつ公正に行うために、判例に基づいた判決の基準を定めた法典として最も適切な名称を答えてください。（2021年 奈良公立入試 類似）

1. 公事方御定書 2. 武家諸法度 3. 生類憐みの令 4. 御成敗式目

問2 18世紀に起こったフランス革命が、それ以前の政治体制をどのように変えたかについて説明した文として、最も適切なものを選択してください。（2016年 京都公立入試 類似）

1. 国王が絶大な権力を持つ絶対王政が倒され、主権が国民にあることが示された。 2. イギリスの植民地支配から独立し、大統領を元首とする共和制が樹立された。 3. 一滴の血も流さずに議会政治が確立され、立憲君主制の基礎が築かれた。 4. 労働者や兵士が中心となり、世界で初めての社会主義政権が誕生した。

問3 古代の律令制度下では、地方の特産品を都へ納める「調（ちょう）」という税がありました。現在の上総国（千葉県中部）一帯から「調」として納められ、その質の高さから朝廷で重宝された麻布を何と呼びますか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 望陀布 2. 上総米 3. 下総醤油 4. 房総節

問4 フランス革命後の混乱を收拾し、1804年に国民投票によって皇帝の地位についた人物は誰か。（2023年 香川公立入試 類似）

1. ナポレオン 2. クロムウェル 3. ワシントン 4. ロベスピエール

問5 フランス革命後の混乱の中で軍事的な功績を背景に実権を握り、1804年に皇帝の座についてヨーロッパの大部分を支配した人物は誰か。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. ナポレオン 2. ルイ16世 3. ワシントン 4. ビスマルク

問6 田沼意次が、従来の「年貢（米）」による収入を増やす方針から、商工業者の活動を利用する方針へと大きく転換した背景として、最もふさわしい説明を選択してください。（2021年 三重公立入試 類似）

1. 貨幣経済が農村まで浸透し、米を基準とした財政システムだけでは幕府の運営が困難になっていたから。 2. 「生類憐みの令」の影響で農業生産力が低下し、食料不足を解消するために商業を振興させる必要があったから。 3. 鎖国体制を完全に廃止して外国との自由貿易を開始するために、国内の商工業を大規模に組織化する必要があったから。 4. 武士が商業に従事することを許可し、身分制度を解体することで新しい国家建設の資金を得ようと考えたから。

問7 江戸時代後期、多くの諸藩が財政難に苦しむ中で行った「藩政改革」において、財政を立て直すために広く採用された経済政策として、最も適切な説明を選んでください。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 藩が領内の特産物を安く買い上げ、都市の商人を通じて有利な価格で売り出す専売制を強化した。 2. 幕府による株仲間の解散令に従い、商人の独占を廃止して自由な商取引を奨励した。 3. 参勤交代の負担を減らすために、大名が江戸に滞在する期間を半年から1か月に短縮した。 4. 農村の人口減少を防ぐため、他国への出稼ぎを全面的に禁止し、すべての農民を自給自足の生活に戻した。

問8 松平定信が行った「寛政の改革」では、凶作で飢えた農民の救済や、将来の飢饉への備えが重要な課題となりました。当時の記録において、幕府が各藩に対して米の備蓄を命じたり、村の住民が穀物を共同で保存するための施設を設けたことが示されていますが、このような政策が行われた直接的な背景として正しいものはどれですか。（2024年 山梨公立入試 類似）

1. 天明の飢饉によって多くの餓死者が出て、各地で百姓一揆や打ちこわしが頻発したから。 2. 外国船の来航が相次ぎ、海岸沿いの警備を強化するための兵糧を確保する必要があったから。 3. 新田開発が進んで米の収穫量が大幅に増えたため、余った米を市場に流さないよう調整したから。 4. 貨幣経済が浸透して年貢としての米の価値が下がったため、米の価格を無理やりつり上げようとしたから。

問9 下総国佐原（現在の千葉県香取市）で名主を務めた後に隠居し、50歳を過ぎてから江戸で天文学や測量術を学び、約17年をかけて日本全国を歩いて実測による正確な日本地図を完成させた人物は誰ですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. 伊能忠敬 2. 間宮林蔵 3. 杉田玄白 4. 新井白石